

完成いたすよう努力いたしますので何とぞ慎重にご審議を賜りましてご可決いただきまうようご協力方ふしてお願い申しあげます。次でございします。多摩河原の区画整理の事業はきわめて順調に進捗しております。本年度も引き続き遅滞のないように進めて参ります。さらにご指導をいただき大変ご迷惑をかけております。福生駅東口の開発につきましてはP・Rと関係市民の方々のご意見を十分参酌いたしまして早期に着手ひきまうよう。早期に都の決定をいただきまうよう努力をして参ります。なお四十五年度中には現地に開発事務所を設置したいと考えております。道路行政におきましては四十五年度におきましてご指導をいただき主要道路の舗装を市内につきましてはほとんど一〇〇％の舗装をしたわけでございます。しかしまだまだ足りない所もあるわけでございします。本年度も引き続き懸命な努力をいたしたいと思ひます。道路の新設あるいは交通

安全施設の設置とか排水等に重点をおきまして道路行政を進めて参ります。横田基地排水路につきましても引き続き施行して参りたいと思ひます。ただいま下水道の問題に少々ふれましたが、下水道におきましては市の下水道の考えにもっとも関連の深い都の多摩川流域下水計画の進捗状況に強い関心を示しまして、これに遅滞なく連携をもつて都の進捗状況に注目をして参ります。以上大体申しあげたわけでございします。なお本

議会をもちまして四十五年度最終の定例議会となりまうが、議員諸氏におかれましては過去四年間の長きにわたり当市の発展のためにご努力を傾けていただき、特に昨年七月の市制施行にあたりましては格段のご協力とご尽力を賜りまして、おかげで法の改正に引き続き全国一号として輝しい市制の誕生をみる事ができたわけでございまして深くお礼申しあげます。次でございします。

また現在の微妙な国際情勢は横田基地をよきとするのが
福生市にとりましては、見過すことの出来ない大問題でござ
います。米軍ならびに横田飛行場につきましては
六月までに戦闘機の沖繩移駐、輸送隊の中継飛行
場としての横田基地の使用、新たに管理部隊の誕生
との情報は入っておりますけれども、その他につきましては
今だに不明でございます。いずれにいたしましても米軍
の大巾な減はすでに現実の問題となっておるわけでご
ざいます。米軍の横田飛行場の縮小ではないという
ことでござりますのでこの対策には苦慮している現状でござ
ります。また経済事情の変動、諸物価の高騰と
相いまちまして市民生活もなかなか大変でござります。こ
のような世相下にありますとも為政者といひましてはひた
すら民生の安定、市民福祉のため努力いたす所存で
ござりますので何とぞ議員諸氏ならびに市民各位におかれ
ましては今後とも一層のご支援とご協力そしてまたご指

導を賜りますよう切にお願い申しあげる次第でござります。

最後に本議会におきましては四十五年度の数多くの補正
予算案、四十六年度のすべての予算案等多数の
条例改正あるいは新設条例をご提案申しあげた次で
ござりますが、何とぞ十分なるご審議を賜りましてご可決い
ただきますよう切にお願いいたしまして挨拶いたします。

長時間誠にありがとうございました。深くお礼を申し上げます。

議長(石川信義君) 以上で市長の施政方針の大綱説明は終
りました。

議長(石川信義君) 次に日程第四一般質問を行ないます。

一般質問につきましてはすでに通告されておりますので
通告の順にお願いいたします。十七番 水谷清一君

(十七番 水谷清一君 登壇)

十七番(水谷清一君) 本日は貴重な時間を割受してい
ただき、私の一般質問にご協力くださいましたことを厚く

お礼申しあげます。最初に市長および福祉事務局長のお考えを伺いたいと存じます。

オ一に老人ホームの施設建設についてであります。

近來とく青少年に対してはあらゆる面から問題視されておりますが、老人に対しては国においても今だ真剣に十分考慮をばらうておられないようでありこの点福祉国家として誠に寂しい感じがしてならないであります。

過日二月十八日読売新聞紙上において取りあげられたこの老人問題について東大和市立一中二年の生徒が佐藤首相と内田厚相に宛てに直訴書が出されたことはすでに比自さまご承知のことと存じますが、これによりまうと一人暮らしの老人が六十一万人、寝たきり老人が四十一万人いふこととで中学生としては思いあまって直訴したものであろうことは疑いない事実であります。これに対し佐藤首相は次のように回答しておられます。「あとしよりの問題について多くのお手紙をいただき皆々ま方の老人問題に対する温かい

福祉市議会

心情があふれており心をうたれました。大都市や人口の少ない地域で孤独な生活を送っている老人には政府はもとより国民の比自が一体とならざるめ細かい対策を進めていかねければならないと思ひます。私としても一層老人問題に真剣にとり組み、福祉国家を築きあげて参りたいと思ひております。

また内田厚相は「老人対策は国家のもつとも重要な厚生行政の一つである。」と回答しております。美濃郡都知事は公害問題につぐ課題は老人問題だと認識しており、この問題の重要さを指摘され大きな励みとなりました。これからは真剣に老人問題に対処するつもりです。ーとこたえておられます。ーここで一考要する

るのは政府ならびに都知事が一中学生の訴えによればじめて老人問題に真剣な姿勢を示したことで、誠に福祉国家の名にはじるものといわなければならぬと思ひます。ひろがそわが福生市におきましては昨年立派な福祉会館が建設されました。いゆる老人の憩いの場ができて、感謝



して利用していることは誠に喜ばにたえます。しかしながらこれで見備したとはいえませんが、もう一歩進めて、老人ホームの施設が必要ではないかと考えます。現在ではほとんどが私立で、経費老人ホームとして東村山市に東京都立武蔵野園、三鷹市に社会福祉法人による経費老人ホームがあり、特別養護老人ホーム、いわゆる老すいともいうべき人々の施設として町田市、昭島市、五日市町、南多摩の八王子市、青梅市、秋多町等にあり、養護老人ホームとしては都の経営によるものは板橋区、東村山市、熱海の伊豆山等にあり、大部分は社会福祉法人または私立の施設ホームとなっている。昨年厚生委員会でも市長ともども豊橋市立の老人ホームを視察いたしました。更に立派なもので養護施設として入室のおとしより方にも楽しそうに生活しておられました。しかるに福生市には何に一つこうした施設はないのであります。数年前町内居住の老人を秋多町の施設に頼んで感謝された経験もありますが、現在でもそ



うした施設があれば将来世話になりたいと希望する方もありまして、中にははばかしいといって拒むそうでもあります。現在の世相からみて今後の老人問題は相当深刻なものがあると思われます。現に各地のホームはほとんどが定員をオーバーしている現状であります。これについて都あるいは福生市において施設建設の考えがあるかどうか、または私立のホームでも受け入れる用意があるかどうか市長ならびに福祉事務所長のお考えを伺いたいと存じます。次に東福生駅東踏切りから国道一六号線に通ずる完全舗装および旧ワラ付街道の一九五号線まで延長する問題についてお伺いいたします。

先に旧ワラ付街道を舗装道路にする陳情について、ただちに採択され、用地の買収も終り本年度において六メートル舗装道路に拡巾されるはこびとなっておりますが、これは東福生駅踏切りの前まででありまして、現在は羽村の工場団地から大型トラックがさかんにこの東踏切りを越え

て一六号線に出ているためこの道路に面した商店はもちろん一六号線の混雑は前にもまして激しくなり、道路はあれで商店の迷惑ははかり知れないものがあります。私の考えとしては将来このつう付街道をさらに延長して五九六号線まで達したなら交通路も二路線となりかなり緩和されるものと思っております。車のいかにかわらず、目前の問題としてこの踏切りから一六号線にいたる道路を完全舗装をし、雨水の飛沫による商店の汚れあるいは大型トラックによる騒音、振動等を少しでも軽減することができまうよう希望するものであります。これらの点につきまして市長ならびに担当課長はどのようにお考えになつておられるかお伺いいたします。

以上の点について質問申しあげ私の一般質問を終わります。

議長（石川信義君） 市長石川常太郎君

（市長石川常太郎君 登壇）

・市長（石川常太郎君） 水谷議員さんのご質問にご答

福生市議会

弁申しあげます。

現今日本の地方行政は、ゆりかごから墓場までと申します。ましてや地方自治体の日常の行政は福祉行政であるといわれております。そのような意味から申しますと水谷議員さんの老人ホームに対するご質問はきわめて当を得た妥当なものと存する次第でございます。ただこの問題につきましては地方の一自治体を取りあげております所はきわめて少ない現状でございます。この附近におきましては八王子が市営をもっております。財政的に非常に困難でございますのむづかしいかとまわしになつてしまふのが現状かと存する次第でございます。

当市におきましても財政の状況からどうしても市民全般が利益をこうむるような施設が優先してしまひ、そこまで手がまわらないということでございます。けれども、いつかは当然建設しなければならぬ問題と考えておる次第でございます。都の状況を申しあげますと西多摩地区におきましては老人

ホームにふさわしい環境の所に建設したいという意見でございまして、どうしても福生のような市街化された所では西多摩地区におきましては敬遠されるむきがあるわけでございまして。また福生に造りましても福生の者が入るということでなくて他の方々も收容しなければならぬということもございまして。その他いろいろの原因がございまして、ただちにこれを建設するということは不可能でございまして、^付寫志家がございまして福生法人等そのようなものを建設していただくというならば喜んで建設したいという受け入れ能力をつくりたいと思います。また都の意向で今後西多摩地区に建設する場合には当市にどうぞという運動をいたしたいと考えます。いづれにいたしましてもそのような意欲をもってあります。がただすぐにはできないということもございましてしばらくご猶予をいただきたいと存じます。なお細かいことにつきましては担当の事務所長よりご答弁を申しあげます。

次に道路の問題でございしますが、これにつきましても担当の

建設課長よりご答弁申しあげますが、根本的には積極的な姿勢で参るということもございするわけでよろしくご協力のほどお願いいたします。大変ありがとうございます。

議長（石川信義君） 福祉事務所長 森田 猛君
福祉事務所長（森田 猛君） 自席からご答弁申しあげます。

老人福祉法でいいます老人の施設といたしましては四つばかりあります。これはすぐに議員さん方はご存知だと思いますけれども、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホームそれから老人福祉センターの四種類があるわけであります。そのうち幸い福生におきましては昨午みじな老人福祉センターが完成したわけでもございまして。あとの三種類でございしますが、ただいま市

長がご答弁申しあげましたようにこれを造りましても福生市の住民だけが入るということはあり得ないわけでもございましてこれはそれそれその基準にあつた者等を收容しなければならぬわけでもございまして、この大体的対象と申しますのは六十五才以上の老人でございまして、養護老人ホームと申しますのは身体上

精神上、環境上等の理由によりまして居宅において養護することができないというもの、特別養護老人ホームと申しまゝるのは身体上や精神上に著しい欠陥、いわゆる大小便のしまつもできないというものを收容する施設でございます。軽費老人ホームと申しまゝるのは主として低所得者を対象として收容する施設でございます。この三つにつきましては私どもが対象調査いたしました收容あるいは保護等を行なっておりますが、養護にいたしましても特別にいたしましても一度入りますとそこで生涯を終るという関係で收容の規模が大きくなつてつかつた意味がないのではないかと、それからそういう施設でございますと最近いわゆる精神病院施設等の火災問題もあるわけでございます。これに対する建築費の増高、それからいわゆる一人当たり何平方メートル、それに医務室というような建設につきましては制約を受けるわけでございます。したがって先きほど市長も申しあげましたが、福生市におきましては環境上の問題、それからそこに従事する職員、いわゆる労力の

提供等が非常にむづかしいのではないかと、この関係で、現在東京都下には特別が十八カ所、それから普通の養護が三十三カ所、軽費が八カ所でございますが、大体山間の郡部の方に近かよつてゐるということもいえるのではないかと、福生市におきましてそのような場所あるいは財政的な問題となりますとなかなかむづかしいのではないかと、このように感じるわけでございます。なおまた施政を施行いたしましてまもないので私どもはたしてそういう老人が何人いるかという点も、実際には的確に把握してございませぬ。そこで私ども市長の命令によりまして四十六年度におきまして実態調査をしたいということと民生委員にお願いいたしまして大体の調査をし、さらに私どもにおりますケースワーカーが実態の内容を細かく調査いたしまして、福祉事務所関係あるいは民生関係に分けられると思いますが、それらの数字等を的確につかんでやつていきたいというふうに考えております。それから現在の老人ホーム関係の收容についてでございますが、都立関係に



つぎましてはまだ入所できる余地がありますが、私立の社会福祉法人関係については大体定員いっぱいとなるので現状でございます。これは経営の手段の一つとして收容しているようなこともみられるわけでございますが、私もほどうしても收容しなければならぬ対象者につぎましては全部收容しております。なかなか昔の「おぼ捨て山」というような感じもございまして私もすすめてもなかなか入所しないというところで、現地等にもといよりの方をつれていくて見せましても死ぬまで自分の家のたまたみの上で死にたいということもありまして非常にこうした指導につぎまして困惑しているわけでございます。したがって現在私どもでかかえておりますことにつぎましては全部措置すべきものは措置してあるという現状でございます。

議長（石川信義君） 建設課長 古谷徳男君
建設課長（古谷徳男君） 自席から水谷議員さんのご質問にござりまする。

最初の東福生駅の東側の踏切りから国道一六号線ま



での舗装問題でございますが、この道路は現在市道 五八六号でございまして八高線の線路をまたぎまして下の手前まで続いている道路でございますが、線路から何う側につぎましては現在の道路が延長で百四十メートルぐらいだと思っております。巾員がハメートルの道路で北側が側溝で南側がD形になっております。ご質問の道路は非常にこの路線は大型自動車が通っておりまして、羽村方面から一・三・一を通りましてこの五八六号を通って国道に出るルートで非常に多く通っておりますが、将来は都市計画街路の二・二・ス号でございまして巾員が二十・五メートルで八高線は立体交差になる予定でございしますが、しかし現在のところすぐにこれを買収、整備ということもなかなかあつかい状態でございます。さしあたまはこの整備でございしますが、計画といたしましては線路から国道までの部分よりも、線路の手前、現在拡中されて区画整理がすんだ所が二十・五メートルと広くなっておりますが、この道路が非常に悪いわけでございます。そういう関係もございまして今後の計画といた

しましてはやはりこれも防衛道路としての補助をお願いいたしまして、路盤からうちかえしなないと出来ないような道路にならなければならぬので相当費用もかかります。そういう関係でこの路線につきましても今の国道一六号線から八高線を渡りまして一・三・一の二十五メートルまでの間ぐらゐを何んとか防衛補助をいただきまして完全な道路にしたいという考えをもっております。ひすからさしあたって今のところそれほど通れないような道路でもございませうで充實的にひどい所は穴のめ等で暫定的に間にあわせていきたいと考えております。

それから後段のワラ付街道の延長でございしますが、市道五九号線の延長でございします。私も調べた範囲では五三三号だと思ひます。ワラ付街道を延長いたしまして四十六年度におきまして東福生駅のホームの前まで六メートルでございましてそれから国道一六号まで直角に曲る出るんですが、踏切りから東福生駅の正面までが大体百三十五メートル、中員六メートルで舗装を行ないまして、それから直角に曲りまして国

道にぬける所で九十メートルばかりで巾員が四、五メートルでございしますが、これもふたをわけまして四十六年度までに舗装をする予定になっております。問題はさらにそれを延長いたしまして現在ハウスの下ぐがある所の道路で給水塔のある道路までの延長だと思ひますが、その間約二百メートルでございします。これも本年防衛庁にはいましてこうした計画もあるんだということ、是非補助対象にしていたきたいということも防衛庁に話してあります。ひすからさうそく四十七年度から三年計画の事業計画でもって提出するようにならざるを得ないので、そういう計画の中に含めまして用地買収それから築造等ができるだけ補助対象にしてもううように計画でもっておりますので、さしあたっては早くても四十七年度以降になります。そういう姿勢で進んでいきたいと思ひます。大型の交通量の関係でございしますが、ワラ付街道につきましては大型規制という事になると思ひますのでそういう関係ではやはり今申しあげたように最終的には都市計画街路の二十メートル道路が将

米の幹線になると思っています。

以上簡単ですがご答弁いたします。

議長（石川信義君） 十七番水谷清一君

十七番（水谷清一君） ただいまの老人ホームの問題でござい

が、市長のお話しも十分了解はしております。なかなか

この問題を一朝一夕に造りということも容易でないということは

わかっておりますが、これは他にも都立のホームがありますのが、

なんとかこの都立のホームを誘致する方法はないものでしょうか。

私立の施設も誘致することはかえってやてしいかも知れませんがこ

れはなかなか問題がありますので早急にはつきないと思っております

が、中にははあかしというところに入りたがらない方もあるよう

です。ただいま福祉事務所長からも話がありました。が、自

分の家で養生したいという意向も大部あるようですが、よそを

みますると相当ホームに世話になさる人が多いようでござい

ます。先ほども申しあげましたようにそういう点から申しましてもある

は有料の施設または特別養護施設というものがあってもいいん

はないかと考えますので、この点についてもう一度お伺いしたいと思

議長（石川信義君） 市長石川常太郎君

市長（石川常太郎君） 水谷議員さんのおっしゃるお考えにつき

ましては全面的に賛成するものでございしますが、都の担当に

今後増設する場合には是非当市に、——という接渉を

して参りたいと考えております。よろしくお願いいたします。

議長（石川信義君） 十七番水谷清一君

十七番（水谷清一君） 建設課長にお伺いたしますが、道路の一

三一号線と申ししますのはどうでしょうか。——

議長（石川信義君） 建設課長古谷徳男君

建設課長（古谷徳男君） 一、三、一と申しあげたつもりなんです

が、通称産業道路と申しておりますが、二十五メートル道路で福

生駅東口の富士見通りをあらりますと羽村からの二十五メ

ートル道路が止っており、それをまよるであらりますのとご質問のハ高線

の線路にぶつかってその先の国道一六号にぶつかると道路が、一、三、一